



# AED(自動体外式除細動器)の

## 重要性についてはご存知ですか？

令和5年11月15日発

機器センター

救急車を待つだけがいい。心臓マッサージだけでいいと思いませんか？

### 1. 日本の心停止者数

日本では、心臓病による死亡は年々増えてきており、日本人の死亡原因の第2位をしめています。病院外での突然の心停止による死亡、いわゆる心臓突然死は年間7万人に及ぶといわれています。

一般市民の目撃のあった心停止の総数では2万人を越えており、その中で一般人によるAEDが使用されたのは4.7%程に過ぎないというデータもあります。AEDの重要性を理解し、活用することによって、救命率を伸ばせる可能性があるのです！

### 2. 心停止後の救命率の低下。「1分で7~10%」

心停止の後、1分遅れる毎に、救命率は7~10%低下するといわれています。5分で救命率は50%、10分で0%となります。心停止が起こったときは、5分以内の電気ショックが理想とされており、1分1秒が生死を分ける状況といえます。

### 3. 救急車が到着するまでの時間

日本における救急車の現場到着時間の平均は、全国平均で8.7分です。救急車の到着を何もせずに待っていたのでは、ほとんど救命できないこととなります。

### 4. 目撃した人の行動が重要！

傷病者が倒れるところを発見したあなたが、行動することが非常に重要なのです。倒れた人を見つけた時の流れとして、

- ①119番通報とAEDの要請
- ②心肺蘇生(胸骨圧迫)
- ③AEDによる電気ショック
- ④救急隊が到着するまで心肺蘇生を継続です。

### 5. 原因は不問。まずはAEDを

見ず知らずの人に胸骨圧迫やAEDを使用するのは非常に勇気がいることだと思います。

ここで一つ、必ず覚えておいて欲しいのは、AEDは電気ショックを行う機器であるとともに、電気ショックが必要かどうかを判断する機器、ということです。AEDが心電図を読み込ませ、電気ショックが必要かどうかを判断しますので、「迷ったら、AEDを装着する」このイメージを持ってください。

### 6. とにかくやってみる。使ってみる。

心肺蘇生は完璧ではなくても、やれば助かる人が増える可能性が高いです。また、心停止状態では、何もしなかったら確実に亡くなってしまいます。倒れた人を見つけたときは、勇気を出して心肺蘇生とAEDの使用をしていただけたらと思います。

成功の可能性が1分ごとに7~10%低下

